
第 2 期宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略
【素案 ver.1】

第Ⅱ部 宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略

I. 宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

1. 宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

(1) 国・県の総合戦略との関係

本総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第 10 条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、国・県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定したものです。また、本市における人口の現状と今後の展望を示した「宇土市人口ビジョン」を踏まえて策定しています。

(2) 第6次宇土市総合計画との関係

令和元年9月、2019年度（令和元年度）から8年間を計画期間とする「第6次宇土市総合計画」を策定しました。総合計画は、総合的かつ計画的な行政の運営を図るための最上位計画であり、今後のまちづくりの方向性を示すとともに、宇土市のすべての行政分野における計画の指針となります。

総合計画が本市の総合的な振興・発展などを目的とするのに対し、総合戦略は長期的な視点に立って、人口減少問題への対応や地域経済縮小の克服などの地方創生を目的とするものです。

2. 宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進期間

本総合戦略の期間は、2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）までの5年間とします。なお、社会環境の変化、施策の進捗など状況変化があった場合は、必要に応じて見直すものとします。

3. 宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制

総合戦略の実効性を高めるため、K P I（重要業績評価指標）について、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）からなるP D C Aサイクルにより進捗管理を行い、産官学金労言等のから構成する外部有識者の参画により検証し必要な改善を加えながら、基本目標の達成が図られるよう各個別事業を推進します。

Ⅱ. 第2期宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方

1. 第1期宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括

(1) 第1期総合戦略の検証

本市では、定住移住施策の推進と、熊本県や近隣市町村と連携し、宇土市民及び宇土市外在住の移住希望者から「選ばれ続けるまち」を目指し、平成27年10月に第1期宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27～令和元年度）を策定しました。

また、総合戦略の推進にあたっては、宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を設置し、各年度において数値目標及びKPIの進捗状況を把握し、検証してきました。

令和元年度に最終年度の達成見込みを含む検証を行いました。数値目標及びKPIの達成状況は次のとおりです。

基本目標1 みんなが豊か！ ～宇土市における安定した雇用を創出する～

数値目標		全 KPI 数	既に達成 達成が見込める	達成が見込めない	分からない
小売業年間販売額	既に達成	11	4 (36%)	6 (55%)	1 (1%)

基本目標2 みんなが住みたい！ ～宇土市への新しい人の流れをつくる～

数値目標		全 KPI 数	既に達成 達成が見込める	達成が見込めない	分からない
社会増の維持	達成が見込めない	11	4 (36%)	7 (64%)	0 (0%)

基本目標3 みんなで育む！ ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える～

数値目標		全 KPI 数	既に達成 達成が見込める	達成が見込めない	分からない
合計特殊出生率	既に達成	14	9 (64%)	5 (36%)	0 (0%)

基本目標4 みんなで実現！ ～時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る～

数値目標		全 KPI 数	既に達成 達成が見込める	達成が見込めない	分からない
新築家屋の建築棟数	既に達成	9	5 (56%)	2 (22%)	2 (22%)

(2) 第1期総合戦略の総括

数値目標については概ね達成しており、特に合計特殊出生率が国や熊本県の数値と比較すると高く、KPIも既に達成・達成が見込めるものが多くあります。

しかし、東京圏の転入超過による一極集中が継続する状況の中で、社会増の維持は達成が見込めず、人口減少の抑制に結び付いていないことが課題となっています。

このことから、第2期総合戦略においては、人の流れをつくる分野において今後重点的に推進する必要があるとともに、強み・特色を打ち出せる結婚・出産・子育て分野を更に強化するため、引き続き地域活性化に資する施策を展開していくことが重要です。

2. 国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針

国の「第2期まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」では、第1期総合戦略を一層の充実・強化を図るとともに、第2期総合戦略に取り入れるべき新たな視点として以下のテーマをあげています。

【国の第2期まち・ひと・しごと創生基本方針 2019 の要旨】

第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略のより一層の充実・強化

【4つの基本目標】

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

【地方創生版・三本の矢】 情報支援，人材支援，財政支援

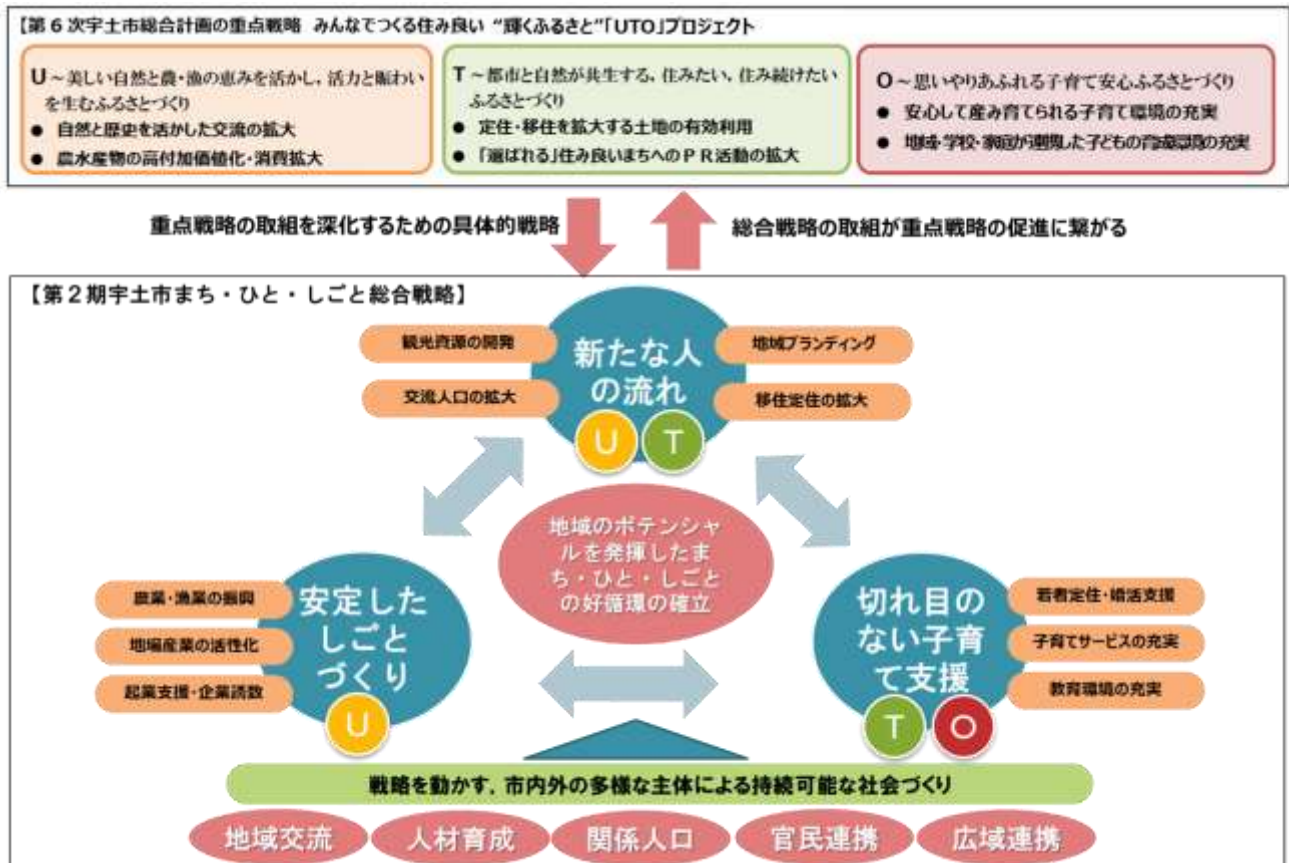
第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における新たな視点

(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する	◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。 ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。
(2) 新しい時代の流れを力にする	◆ ソサエティ エスティー・ジエス Society5.0の実現に向けた技術の活用。 ◆SDGsを原動力とした地方創生。 ◆「地方から世界へ」。
(3) 人材を育て活かす	◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。
(4) 民間と協働する	◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。
(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる	◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。
(6) 地域経営の視点で取り組む	◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

3. 第2期宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針

(1) 第6次宇土市総合計画の推進

第2期宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第6次宇土市総合計画の重点戦略である、みんなでつくる住み良い“輝くふるさと”「UTO」プロジェクトの取組を深化するための具体的戦略として、推進していきます。



(2) 推進にあたっての基本方針

【第1期総合戦略の継続】

「継続を力にする」という国の方針のもと、第1期総合戦略の施策のうち、継続して実施することで、戦略の成果を向上させる可能性の高い施策は、第2期総合戦略に継続し、さらに発展させます。

【新たな視点をふまえた戦略の追加】

国における第2期総合戦略策定方針の新たな視点を踏まえ、宇土市の新たな地方創生の戦略的施策を追加します。

4. ^{エスディー・ジーズ}SDGs の視点を取り入れた地方創生の推進

^{エスディー・ジーズ}SDGsは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略で、2015 年の国連サミットにおいて採択されたもので、貧困や飢餓、さらには気候変動や平和など広範な分野にわたって 17 の目標が設定されています。その理念は「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、開発途上国のみならず先進国も含め全ての国や関係者の役割を重視し、経済・社会及び環境の 3 領域を不可分なものとして調和させる統合的取組について合意されたものです。

国では世界の流れを踏まえ、2030 年の目標年限に向け、持続可能な開発目標となる^{エスディー・ジーズ}SDGs を推進しており、第 2 期総合戦略においても、「^{エスディー・ジーズ}SDGsを原動力とした地方創生」を新たな戦略方向として示しています。

本市においても、誰一人取り残さない社会の実現を目指す^{エスディー・ジーズ}SDGsの理念を踏まえ、市の実情に応じた^{エスディー・ジーズ}SDGsの目標を取り入れた持続可能な社会づくりが求められています。

以上をふまえ、第 2 期総合戦略では、自治体における^{エスディー・ジーズ}SDGsの推進にあたって、各施策が^{エスディー・ジーズ}SDGsの様々な目標に結びついていることを示すため、下図に示す 17 の目標のアイコンを使って視覚的にわかりやすく見える化し、全体として全ての目標につながっていることを確認できるようにしています。

^{エスディー・ジーズ}【SDGsの 17 の目標】



5. 戦略の基本目標

第 6 次宇土市総合計画に掲げる重点戦略及び宇土市人口ビジョンに示す本市における人口の将来展望をふまえ、戦略推進にあたって、以下の 4 つの基本目標を設定します。

基本目標 1 人の流れをつくる ～交流人口から関係人口、定住移住人口へ～		
20 代の若い世代の転出超過を克服し、人口の流出抑制、本市へ新たな転入者の増加をめざし、効果的なプロモーションにより、まちの魅力の認知度を高めます。また、観光と連動した交流人口の増加、市出身者を中心とした市外者との関係人口の拡大など、多面的な施策展開により、宇土市への移住のきっかけをつくり、定住移住誘導のための各種補助事業や環境整備等により、移住人口の流れをつくり、市への人口定着を図ります。		
数値目標	実績値 (2019 年度)	目標値 (2024 年度)
○人口の社会増数		

基本目標 2 切れ目のない子育て支援 ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
結婚から出産、子育てまでの切れ目のない子育て支援を充実し、若い世代が安心して結婚・妊娠・出産・子育てのできる環境をつくることで、結婚・出産の機会を増やしていきます。 また、地域の特色ある教育環境を整備することで、子育て世帯に選ばれる、住みたい・住み続けたいまちづくりを目指します。		
数値目標	実績値 (2019 年度)	目標値 (2024 年度)
○出生数		

基本目標 3 安定したしごとをつくる ～就労機会の創出と多様化～		
農水産物等の地域資源を活かした特産品の開発・販売や交流人口の増加により、市の魅力を発信し、新たな企業の誘致や担い手を育成するとともに、地場産業の経営基盤の強化、起業・創業及び企業の誘致により安定した雇用環境の創出をめざします。		
数値目標	実績値 (2019 年度)	目標値 (2024 年度)
○就業者数（15 歳以上）		

基本目標 4 多様な主体による持続可能な社会づくり ～戦略を動かす協働のまちづくりと持続可能な社会の形成		
市民との協働によるまちづくりや官民連携・広域連携を拡大し、戦略を動かすまちの原動力を活性化します。また、持続可能な地域社会を形成するため、 ^{エスディー・ジーズ} SDGsの考え方をふまえ、経済、社会及び環境のさまざまな分野から、市民が安心して住み続けられる暮らしをつくります。		
数値目標	実績値 (2019 年度)	目標値 (2024 年度)
○連携協約事業数		

6. 総合戦略の施策体系 ※計画原案では主な施策みを含めた体系図に更新予定

基本目標	主な施策
1 人の流れをつくる ～交流人口から関係人口，定住移住人口へ～	(1) シティプロモーション強化 (2) 地域資源を活かした観光プログラムによる交流人口の拡大 (3) 関係人口の創出 (4) 定住・移住の促進
2 切れ目のない子育て支援 ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～	(1) 結婚・出産に関する支援 (2) 多様なニーズに合わせた子育て支援の充実 (3) 教育の充実と情報発信 (4) 子育て支援を行う担い手の充実
3 安定したしごとをつくる ～就労機会の創出と多様化～	(1) 農業・漁業の振興による新たな雇用の創出 (2) 地場産業の経営基盤の強化 (3) 企業誘致の推進 (4) 創業・就労支援と異業種交流の場づくり
4 多様な主体による持続可能な社会づくり ～戦略を動かす協働のまちづくりと持続可能な社会の形成～	(1) 市民の地域活動促進 (2) 官民連携・広域連携の推進 (3) ^{エスディー・ジーズ} SDGsの推進による持続可能な社会づくり

Ⅲ. 基本目標別具体施策

基本目標 1 人の流れをつくる

～交流人口から関係人口，定住移住人口へ～

1 シティプロモーション強化

施策の基本方向	宇土市の魅力を幅広く伝える効果的な情報発信を行い，認知度・関心を高めることで，若者世代や子育て世代などの定住移住へつながるきっかけをつくります。
主な施策	(1) SNSによる情報発信の拡充 ① 誰もが利用しやすいウェブを利用した情報発信 本市の魅力を効果的に PR するため，市ホームページや Facebook，LINE などを通して，誰もが情報を取得できるよう分かりやすい情報発信に努めます。 (2)シティプロモーションの拡充 ② 企業や観光，若者，子育て世代などのターゲット別プロモーションの実施 目的・ターゲットに合わせた市ホームページなどでの情報発信やイベントなどの PR 活動を展開し，本市の認知度・関心を高めます。
KPI	■ 市ホームページへのアクセス件数
エスディー・ジーズ 関連SDGs	 

2 地域資源を活かした観光プログラムによる交流人口の拡大	
施策の基本方向	地域資源を活かした交流イベントを展開し、多くの人々が市へ訪れる機会をつくり、市への関心を高め、定住移住につなげていきます。
主な施策	(1)観光資源のブラッシュアップ ①西部地区観光資源活性化事業 西部地区を中心に、自然や歴史、産業などの地域資源を生かした誘客効果のある観光の魅力づくりを行います。 (2)訴求力のある観光ブランディングの確立 ①観光 PR アドバイザーの活用 民間のノウハウを熟知した観光 PR アドバイザーを設置し、観光客の消費を誘引し地域経済への効果へつながらよう、PR 強化を図ります。 ②プロモーションツールの開発 SNS やマスメディア、各種旅行媒体などを活用し、効果的な情報発信や旅行商品造成を促進します。また、観光パンフレットなどの多言語化を充実させ、インバウンド旅行客の集客促進を図ります。 ③周遊観光システムの開発 観光マップに交通アクセス情報を掲載し、人気観光スポットにそれぞれのスポットの情報提供や臨時的な飲食販売ブースなどを設置することで、インバウンド対策を含めた経済効果のある分かりやすい周遊観光のシステムを開発します。 (3)地域・歴史資源を活かした観光の推進 ①大太鼓活用事業 平成 29 年 3 月に国重要有形民俗文化財に指定された「宇土の雨乞い大太鼓附関連資料」を活用し、市民の文化・芸術活動を促進し産業振興を図るため、地域活性化に向けた事業を行います。 ②熊本地震震災ミュージアム 熊本地震の記録や経験、教訓等を後世に伝承し、観光振興や地域の活性化に向け熊本地震からの復旧・復興を推し進めるため、新庁舎内に震災ミュージアムを開設します。 ③「あじさい」のまち＝うとのブランド化 市の花である「あじさい」を広めるためにブランド化を行い、観光客やリピーター増加につながる集客事業を行います。
KPI	■ 観光入込客数（観光動態調査）
エスディージーズ 関連SDGs	    

3 関係人口の創出	
施策の基本方向	イベントやインターネットサイトを通じた宇土市へのつながりのある人たちとの発掘と定期的な関係づくりにより、関係人口の創出・拡大を目指します。
主な施策	(1)体験型関係人口創出事業 ①農業・漁業を通じた関係人口の創出 市民農園の市外者利用も促進し、「週末農業」や農家・漁師のお手伝いをする「農業・漁業体験プログラム」などのイベントを通じて、地元との定期的な交流により、新たな移住者のきっかけをつくれます。 ②空き家を活用した関係人口の創出 利用可能な空き家の活用や、空き家バンクを充実させることで関係人口の増加を目指します。 (2)宇土市応援サイトの開設 ①宇土市応援サイトの開設による情報発信 ふるさと納税を含めた市ホームページや SNS を活用した情報発信により、市出身者や市に愛着のある人のネットワーク化を検討し、イベントへの参加通知やクラウドファンディングなどへの展開につなげます。
KPI	■ 市民農園の利用者数 ■ 空き家バンク登録数 ■ ふるさと宇土応援寄附金額
エスディー・ジーズ 関連SDGs	 

4 定住・移住の促進

施策の基本方向	定住移住の受け皿となる住環境を主とした整備をおこない、効果的な事業を行うことで、定住移住人口の増加に繋がります。
主な施策	(1)定住移住の受け皿となる住環境の整備 ①都市計画道路の整備 計画的な都市計画道路の整備により、良好な街路・居住環境を確保し、道路沿線の住宅開発などの土地利用の推進を図ります。 ②新築住宅に対する固定資産税の減免 新築住宅の取得において、現行の固定資産税の減免制度に加え、市独自の制度としてさらに減免を行うことで、地域経済の活性化や定住人口の増加を図ります。 ③住宅リフォーム助成事業 市民の居住環境の向上と市内経済などの活性化を図るため、住宅リフォーム助成事業を行います。 (2)定住・移住希望者の掘り起こし ①定住・移住フェアへの参加 熊本県や熊本連携中枢都市圏などが開催する定住移住フェアに参加し、地方への移住希望者に対して本市の魅力をPRすることで、移住者の確保に努めます。 (3)定住・移住に向けた空き家の活用 ①金融機関とのタイアップによる空き家活用支援 空き家の定住移住希望者への流動性を高めるため、金融機関の空き家活用に関する商品を活用し、空き家所有者や不動産業との連携による活用促進を図ります。 ②お試し居住実施可能物件の検討 空き家や空きスペースを活用し、短期間の居住や長期間の宿泊が出来る「お試し居住」の検討を行います。
KPI	■ 定住・移住フェアへの参加者数
エスディーズ 関連SDGs	 

基本目標2 切れ目のない子育て支援

～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

1 結婚・出産に関する支援

施策の基本方向	結婚や出産の希望を叶えるための支援を行うことで、早婚化や多産化を進め、出生率を向上させます。
主な施策	(1)若者定住促進のための婚活支援 ①婚活支援事業 宇城広域連合や民間団体と連携し婚活講座の開催を行うことで、少子化による人口減少の解消や次世代の活性化のために若者の定住・移住を促進します。 (2)母子保健事業の充実 ②不妊治療費助成事業 不妊治療に係る経済的な負担の軽減に取り組み、不妊の解消・出生数の増加につなげます。 ③早産予防対策事業 低出生体重児の出生を減少させるために、妊婦健診での膣分泌物細菌検査項目の追加や妊婦の歯科健康診査費用の助成を行うことで、妊婦の感染症予防につなげます。
KPI	■ カップリング数 ■ 出生数（再掲）
エスディーゼーズ 関連SDGs	  

2 多様なニーズにあわせた子育て支援の充実	
施策の基本方向	多様な子育て家庭のニーズに対応した幅広いサポートにより、子育て世代が安心して生み育てることが出来る環境づくりを行い、出産の後押しをします。
主な施策	(1)子育て支援体制の整備 ①子ども・子育て支援事業 「宇土市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、学校教育や保育、子育て支援、母子交流の場などに関するニーズを把握したうえで適切なサービスの確保に取り組みます。 ②保育事業の充実 延長保育、休日保育、障がい児保育など子育て家庭の多様なニーズに対応した保育事業の充実に努めます。 ③妊娠・出産包括支援事業 産後ケアを必要とする出産後 1 年を経過しない女子及び乳児に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の充実に努めます。 (2)多様なニーズに応える支援の充実 ①公立幼稚園での一時預かり保育 共働き世帯の増加などに対応するため、公立幼稚園での一時預かりを行い、保育の受け皿の充実に図ります。 ②乳幼児・子ども医療費助成 乳幼児及び小中学生の医療費の助成により、子育て世帯の経済的負担を軽減と児童の健全育成を図ります。 ③特別支援教育事業 特別な支援を必要とする児童及び生徒への支援を充実させるため、「宇土市特別支援教育相談員」を配置し、小中学校の生徒や就学前児童の保護者の方々を対象とした相談業務を行います。 ④ICTを活用した子育ての継続的なサポート 母子手帳アプリなどを活用し、いつでもどこでも子育て相談を受けられる双方向ポータルサイトの充実を検討します。 (3)妊娠期から子育て期までの総合的な相談支援の提供 ①子育て世代包括支援センター 相談窓口をワンストップ化し、妊娠期から子育て期の世帯が切れ目なく気軽に相談支援ができる環境をつくります。
KPI	■ 待機児童数
エスディージーズ 関連SDGs	  

3 教育の充実と情報発信

施策の基本方向	宇土市の特色ある教育を発信することで、子育て世代の宇土市の教育への関心を高め、転入の機会をつくれます。
主な施策	(1)特色のある教育の拡充と発信 ①小規模特認校制度 西部地区などを中心に、自然豊かな環境での少人数学習を特色ある教育として行います。 ②放課後子供教室推進事業 地域の異なる世代との学習活動や体験・交流活動を通して、子どもたちが地域の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。 ③国際理解推進事業、語学指導委託事業 小中学校での英語教育や、幼稚園・保育園で英語と慣れ親しむ時間を設け、幼少期からの英語教育を行うことで、国際化に対応した人材育成を行います。 ④学校 ICT 関連事業 公立幼稚園や小中学校にタブレット端末や電子黒板などを導入し、情報活用能力やプレゼンテーション能力を備えた、^{ソサエティ}Society5.0 に対応できる人材育成を行います。 ⑤コミュニティ・スクール事業 学校と家庭、地域が目標を共有し、各地域の特色を活かした「地域とともにある学校づくり」に努めます。 (2)就学支援の充実 ①副教材費購入助成事業 小中学校に入学する新 1 年生に対し、副教材費の購入に係る経費の一部を負担することで、新入学時に係る経済的負担の軽減を図ります。 ②多子世帯への給食費助成事業 小中学校に 3 人以上子どもがいる多子世帯の 3 人目以降の給食費を無料化し、経済的負担の軽減を図ります。 (3)地域資源を活かした体験活動の実施 エスディー・ジーズ ①SDGsの考え方に基づく体験学習 市内外の子どもたちを対象に授業や PTA・公民館活動などでも掘りや潮干狩りなどの体験や研究を通し農業や漁業などの地域資源を身近に感じてもらうことで、将来の担い手育成を行います。
KPI	■ 小規模特認校制度の利用生徒数 ■ 地域資源を活かした体験活動の参加者数
エスディー・ジーズ 関連SDGs	     

4 子育て支援を行う担い手の充実

施策の基本方向	子育て支援の充実を図るため、その担い手の確保を行うことで、子育て環境の安心感を醸成します。
主な施策	(1)子育てを担う人材の確保 ①子育てを行う基盤と人材のマッチング 保育士の処遇改善や保護者が保育士である児童の保育所入所の支援、保育所の保育士確保に対する支援を充実させることにより、市内保育所が保育士を確保しやすい環境づくりを目指します。
KPI	■ 保育所待機児童数の減少
エスディー・ジーズ 関連SDGs	  

基本目標 3 安定したしごとをつくる

～就労機会の創出と多様化～

3 農業・漁業の振興による新たな雇用の創出

施策の基本方向	農業・漁業に関心がある担い手育成や、集落営農への農地集積など効率的な農業経営を推進し、経営基盤の強化を図ります。
主な施策	(1) 農業・漁業の経営基盤の整備 ① 法人化、担い手農家等への農地集積による経営規模拡大支援 農地中間管理事業などを活用し地域の担い手への円滑な農地利用の集積・集約化を支援することで、経営体制の合理化に取り組みます。 ② 農業経営アドバイザーの活用 専門的な知識や経験による農業経営に対する助言や指導、金融機関との連携により、経営主体の経営安定、儲かる第一次産業の育成を図ります。 (2) 農業・漁業の担い手確保 ① 農業次世代人材投資資金 次世代を担う農業者となることを希望される方に対し、就農前の研修を後押しする資金及び就農直後の経営確立を支援する資金を交付します。 ② 漁業後継者クラブ育成補助事業 漁業への意欲を増進させ、新しい時代に対応する知識・技術と実践量を習得させるため、漁業後継者に対する研修活動などを支援し、担い手の育成を図ります。 (3) 農水産物の高付加価値化・消費拡大 ① 「ウトブランド」によるSDGs推進事業 エスディー・ジーズ 宇土市の農水産物の認知度向上及び販路拡大のため、宇土市の旬を届ける実行協議会が宇土市の特色を生かして生産した戦略作物や加工品などを「ウトブランド」とし、生産・流通体制の強化や雇用の確保等によるSDGsの目標達成のための支援を行います。 エスディー・ジーズ ② 漁場の保全 漁業資源の回復のため、資源の散布や漁場の環境保全により、アサリなどの資源確保を目指します。
KPI	■ 認定農業者数 ■ 漁業組合員数 ■ ウトブランドのPR件数
エスディー・ジーズ 関連SDGs	       

2 地場産業の経営基盤の強化

施策の基本方向	地場産業の経営を支援することによって、将来にわたる雇用の確保と拡大につなげます。
主な施策	(1)地元企業の雇用対策支援 ①雇用促進奨励金 市民の雇用の拡大と企業などの開発や誘致を促進するため、事業開始に伴い新規に宇土市住民を雇用した企業に対して、優遇措置として奨励金を交付します。 (2)地元企業の経営基盤強化 ①関係機関と連携した事業承継支援 地元企業の安定した経営のため、商工会や金融機関などの関係機関と連携し、事業承継支援を行います。 ②中心市街地での解体空き地活用事業 中心市街地の空き地を店舗の駐車場として利用する場合の支援を行うことで、利用者の買い物などの店舗利用が便利になり、活気ある中心市街地を目指します。 ③AI や IoT などを活用した未来技術の導入・促進 活用を希望する企業や農業者などを把握し、^{ソサエティ}Society5.0 などの導入・推進を行います。また、SNS を活用した情報発信支援やキャッシュレス促進を行います。
KPI	■ 市内就業者数 ■ 商工会主催による個別相談・セミナーの参加者数
エスディー・ジーズ 関連SDGs	 

3 企業誘致の推進

施策の基本方向	宇土市の特性に関心を持つ企業を誘致し、産業の振興と雇用の促進をはかり、豊かで活力あるまちを目指します。
主な施策	(1)工業団地等への企業誘致 ①企業誘致・企業支援活動 企業の進出動向などの情報収集や定期的に関係業者などと意見交換を行うため、企業誘致アドバイザーを活用するとともに、トップセールスにより積極的に企業誘致を行います。
KPI	■ 進出（増設）協定企業数
エスディー・ジーズ 関連SDGs	 

4 創業・就労支援と異業種交流の場づくり	
施策の基本方向	新たな創業機会の創出や創業者の支援，若年層を中心としたマッチング支援を行うことで，安定した雇用の維持・確保を行います。
主な施策	(1)創業支援の充実 ①店舗改装・新規創業支援事業 中小規模店舗が行う店舗改装費用又は開業資金について借入利子の一部を市が補助することで，販売環境の整備を促進し賑わいの創出と売り上げの増加を目指します。 (2)創業・就労機会の創出 ①マッチング交流会の開催 商工会と連携し，地場産業のリノベーション機会の創出として，市内外の起業家・金融機関を併せたマッチング機会を創出します。 ②高齢者の就労機会や社会参加の創出 シルバー人材センターの活動支援や関係団体への情報提供等を通じて，高齢者の経験や知識を生かした就労機会を創出します。また，元気高齢者を主体としたマルシェを開催し農作物や制作した小物などの販売を行うことで，生産活動を通じた社会参加の促進を行います。
KPI	■ 特定創業支援等事業対応件数
エスディー・ジョーズ 関連SDGs	 

基本目標 4 多様な主体による持続可能な社会づくり

～戦略を動かす協働のまちづくりと持続可能な社会の形成～

1 市民の地域活動促進

施策の基本方向	地域や市民団体が行うまちづくり活動などを支援し、まちづくりを担う人材を育成することで、市民の自主的なまちづくり活動を促進します。
主な施策	(1)市民のまちづくり支援 ①まちづくり活動支援事業 住民同士の協力による支え合いのまちづくりを促進するため、多様なニーズに対応したコミュニティの形成とコミュニティ施設の整備に対して、助成金を交付します。 ②地域おこし協力隊の活用 地域力の維持・強化を図るために担い手となる人材を確保する必要があるため、都市部から地域活性化に意欲のある人材を受け入れ、外部の視点から地域の魅力を発見・発信し、住民と協力した地域の活性化を図ります。
KPI	■ まちづくり基金助成申請件数 ■ 地域おこし協力隊の受入れ人数
エスディージーズ 関連SDGs	 

2 官民連携・広域連携の推進

施策の基本方向	地域の実情に応じた多様で質の高い行政サービスを提供するため、あらゆる資源を活用した広域・産官学連携を図ります。
主な施策	(1)官民連携の推進 ①九州財務局、崇城大学などとの連携協定事業 包括連携協定を締結している九州財務局や崇城大学などと連携し、双方のネットワークを有効に活用することで、地域経済の活性化及び市民生活の向上に取り組みます。 ②協会けんぽ熊本支部・宇土市商工会との連携協定事業 包括連携協定に基づき、健康づくりに関する啓発やイベント、講話など協働で取り組みます。また、医療費適正化の取組として、医師会や薬剤師会とも協働で実施します。 (2)広域連携の推進 ①熊本連携中枢都市圏などでの広域連携事業 熊本連携中枢都市圏での取組を中心に、特産品の国内外への販路拡大や UIJ ターン希望者を対象とした就職促進会の実施、人材育成に関する共同研究など、様々な分野での広域連携事業に取り組みます。
KPI	■ 連携取組事業数
エスディー・ジェー・ズ 関連SDGs	  

3 エスディー・ジーズ SDGsの推進による持続可能な社会づくり	
施策の基本方向	エスディー・ジーズ 持続的な開発目標であるSDGsの理念「誰一人取り残さない」社会の実現をふまえ、経済、社会及び環境面から将来にわたって市民の安心した暮らしを守ります。
主な施策	(1)安全で利便性の高い交通環境の整備 ①公共交通の維持・充実 現在運行している公共交通を維持し、公共交通の未整備地区については、コミュニティバスやミニバスの運行、デマンドタクシーの導入検討により、運転免許返納後も住み続けられるような利便性の高い交通ネットワークを整備します。 エスディー・ジーズ (2)環境面からのSDGsの推進 ①エコライフ計画の推進事業 環境にやさしい都市づくりを推進するため、環境基本計画をふまえ市民の生活スタイルの指針となるエコライフ計画を策定し、全市民の実行を促進します。 ②熊本連携中枢都市圏地球温暖化防止実行計画の推進 地球温暖化対策の推進に向け、市内の事業者又は住民が温室効果ガスの排出の抑制などに関して行う活動の促進を図るため、熊本連携中枢都市圏で共同で計画を策定・実行します。 エスディー・ジーズ (3)福祉面からのSDGsの推進 ①高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 後期高齢者の保健事業について、国民健康保険の保健事業と介護保険の地域支援事業との一体的に実施に向け、重症化予防事業や通いの場などへの参加をはじめとした介護予防の普及啓発などを効果的に行い、健康寿命の延伸や医療費の適正化を図ります。
KPI	■ ごみリサイクル率 ■ 1人あたり医療費（後期高齢者）
エスディー・ジーズ 関連SDGs	3 持続可能な消費と生産 環境と経済 11 気候変動に具体的な対策を 持続可能な都市 17 パートナーシップで目標を達成しよう パートナーシップ